平成 15 年 7 月期 第 3 四半期業績概要(連結)



平成15年6月5日

会 社 名 日本駐車場開発株式会社

コード番号 2353

登録銘柄 本社所在都道府県

大阪府

(URL http://www.nittyu.co.jp)

代表 者

代表取締役社長

者 役職名 氏

名 巽 一久

問い合わせ先

責任者役職名 取締役管理本部長

氏 名 氏家 太郎

T E L (06) 6227 - 6777

決算取締役会開催日

平成 15 年 6 月 5 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高又は売上に相当する事項の会計処理の :

方法の最近連結会計年度における認識の方法

との相違の有無

2. 平成 15 年 7 月期第 3 四半期の概況 (平成 15 年 2 月 1 日 ~ 平成 15 年 4 月 30 日)

(1) 連結経営成績

	売 上	高	営 業 利 益	経常利益
	百万円	%	百万円 %	百万円 %
15年7月期第3四半期	635		97	101
14年7月期第3四半期				
(参考) 14年7月期	1,570	83.1	201	209

- (注)1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 - 2. パーセント表示は、対前年同期比増減率を示す。
 - 3. 連結子会社は1社であり、連結範囲及び持分法の適用に関する異動はありません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期におきましては、株価の低迷、不安定な国際情勢、重症急性呼吸器症候群(SARS)の影響等を巡る先行き不透明感により、引き続き景気が下押しされる懸念がある非常に厳しい経済状態が続きました。

当社グループは、このような厳しい環境のなか、積極的な営業展開をすることにより着実に直営物件数を増加させ、業績を拡大いたしました。青山ベルコモンズ(大型商業施設)での営業を開始し、汐留タワー(汐留地区再開発物件、ホテル併設施設)を受注するなど、新たな形態のビル附置駐車場へのサービスを開始したことや、店舗の統廃合を推進する金融機関等、遊休資産を抱える企業からの受注が堅調に推移し、直営事業において546百万円を計上した結果、売上高合計は635百万円となりました。

直営事業の売上構成比が 85.9%となり、安定的収益増に貢献したことから、営業利益は 97 百万円を 計上し、売上高営業利益率は 15.3%となりました。営業外収益(投資有価証券売却益 5 百万円等)や営 業外費用(新株発行費 2 百万円等)を計上したことにより、経常利益は 101 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象 当社は、平成 15 年 2 月 17 日を払込期日とする公募増資により 120 百万円の資金調達を行いました。

(3) 営業の状況

当四半期における販売実績を事業の種類別に示すと、次のとおりであります。

区分	平成15年7月期第3四半期 (自 平成15年2月 1日 至 平成15年4月30日)		
	金額(千円)		
直営事業	546,062		
リーシング事業	54,688		
マネジメント事業	25,786		
V A サービス事業	4,315		
その他の事業	4,625		
合計	635,478		

- (注) 1 当社は一般の不特定多数の顧客を相手とするサービス業であります。
 - 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 - 3 当四半期における直営事業の売上高及び四半期末の物件数を主たる地域別に示すと、次のとおりであります。

		平成15年7月期第3四半期 (自 平成15年2月 1日 至 平成15年4月30日)	平成15年7月期第3四半期 (自 平成15年2月 1日 至 平成15年4月30日)	
		金額(千円)	物件数(件)	
直	関東	261,484	124	
営	近畿	243,116	72	
事	東海	37,436	16	
業	九州	4,026	2	
	計	546,062	214	

3. 平成 15 年 7 月期の連結業績予想 (平成 14 年 8 月 1 日 ~ 平成 15 年 7 月 31 日)

_	7 10 7 10 10 11 11 11 11 11 11									
			売	上	高	経	常和	」 益	当期純利益	
					百万円			百万円		百万円
	通	期		2,540			402		233	

(参考)1株あたり予想当期純利益(通期) 13,262円 76銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 15 年 2 月 18 日に発表しております平成 15 年 7 月期の業績見通しは上記の通りであり、本見通しに変更はございません。

[当社グループの四半期業績の特性]

当社グループの主要事業である直営事業はストック型の事業であり、売上高および利益は直営物件数の伸びに伴い、期首から期末に向け上昇する傾向があります。従いまして、今期の業績予想におきましても第1~第3四半期に比べ第4四半期のウェイトが高い業績予想となっております。

[業績予想に関する留意事項]

上記の予想につきましては、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際の業績はさまざまな要因によって、上記予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

1.平成15年7月期第3四半期の個別業績概況(平成15年2月1日~平成15年4月30日)

(1) 個別経営成績

()								
	売 上	高	営 業 利	益	経 常 利 益			
	百万F	9 %	百万円	%	百万円	%		
15 年 7 月期第 3 四半期 14 年 7 月期第 3 四半期	514		102		106			
(参考) 14年7月期	1,245	76.8	186		182			

- (注)1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 - 2. パーセント表示は、対前年同期比増減率を示す。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期におきましては、青山ベルコモンズ(大型商業施設)やホテル併設物件等これまでの実績に無い形態のビル附置駐車場へのサービスを開始しました。当社と 100%子会社である㈱パーキングプロフェッショナルサービシーズとの間での、従来通りの契約条件を新規形態の物件にも適用しているため、当四半期においては、利益が当社に偏重して計上されておりますが、連結ベースでの収益性は従来の物件と相違なく予想通りの立ち上がりとなっております。今後は、親子間での取引条件を見直し、各物件毎のオペレーションに応じた適正利益が配分されるような条件の確立を目指すものの、従来どおり連結ベースでの収益極大化を最優先させていく所存です。

2.15年7月期の業績予想(平成14年8月1日~平成15年7月31日)

		売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり ^生 期 末	手間配当金
通	期	百万円 1,987	百万円 368	百万円 214	円 銭 0 0	円 銭 0 0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 12,145円 36 銭

[業績予想に関する留意事項]

上記の予想につきましては、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際の業績はさまざまな要因によって、上記予想数値と異なる可能性があります。